

防火服の性能比較表（案）

要求事項	新ガイドライン	前回ガイドライン（R4.3）	ISO 11999-3:2025	JIS規格
前処理	1) ISO 6330:2021 ×5 回 洗濯：6N（A形洗濯機 60℃） ECE洗剤使用 乾燥：F（タンブル乾燥） 製造業者により洗濯方法の指定がある場合は、洗濯指示に基づいた標準化された洗濯方法 2) ISO 3175-1:2017（「ドライクリーニング」のみの場合）×5 回 3) JIS L 1930:2014 C4M 洗濯～脱水 × 3 回 40℃湯洗い～脱水 × 2 回	1) ISO 6330:2021 ×5 回 洗濯：6N（A形洗濯機 60℃） ECE洗剤使用 乾燥：F（タンブル乾燥） 製造業者により洗濯方法の指定がある場合は、洗濯指示に基づいた標準化された洗濯方法 2) ISO 3175-1:2017（「ドライクリーニング」のみの場合）×5 回 3) JIS L 1930:2014 C4M 洗濯～脱水 × 3 回 40℃湯洗い～脱水 × 2 回	1) ISO 6330:2021 ×5 回 洗濯：6N（A形洗濯機 60℃） ECE洗剤使用 乾燥：F（タンブル乾燥） 製造業者により洗濯方法の指定がある場合は、洗濯指示に基づいた標準化された洗濯方法 2) ISO 3175-1:2017（「ドライクリーニング」のみの場合）×5 回	・ ISO 6330:2021 JIS L 1930:2024 (MOD) ・ ISO 3175-1:2017 対応JISなし ・ ISO 3175-1:2010 JIS L 1931-1:2014 (MOD)
耐炎性能	耐炎性 【防火服積層】 【防火服縫い目】 1) ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯前後 防火服積層の表裏各面にて試験 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 全層に5 mm以上の穴あきなし （透湿防水層など耐炎性以外の目的の層を除く） 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒 2) ISO 15025:2016 B法（下端着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 < 2 秒，炭化長 ≤ 100 mm 残じん ≤ 2 秒	1) ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯後 防火服積層の表裏各面及び縫い目にて試験 試験片上端・両端への火炎伝ばなし 5 mm以上の穴あきなし （透湿防水層など耐炎性能以外の目的の層を除く） 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒，残じんが炭化していない範囲に拡大しない 2) ISO 15025:2016 B法（下端着火法） 洗濯後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 < 2 秒，炭化長 < 100 mm 残じんが炭化していない範囲に拡大しない	ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯前後 防火服積層の表裏各面にて試験 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 全層に5 mm以上の穴あきなし （透湿防水層など耐炎性以外の目的の層を除く） 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒， 残じん ≤ 2 秒 2) ISO 15025:2016 B法（下端着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 < 2 秒，炭化長 ≤ 100 mm 残じん ≤ 2 秒	・ ISO 15025:2016 JIS T 8022:2020 (MOD)
	耐炎性 【リストレット】 【アングレット】 ISO 15025:2000 A法（表面着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし （透湿防水層など耐炎性以外の目的の層を除く） 全層に5 mm以上の穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒，残じんが炭化していない範囲に拡大しない 2) ISO 15025:2016 B法（下端着火） 洗濯後 前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 < 2 秒，炭化長 ≤ 100 mm 残じん ≤ 2 秒 残じんが炭化していない範囲に拡大しない	ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 5 mm以上の穴あきなし 燃焼飛散物・溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒，残じんが炭化していない範囲に拡大しない	ISO 15025:2000 A法（表面着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし （透湿防水層など耐炎性以外の目的の層を除く） 全層に5 mm以上の穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒， 残じん ≤ 2 秒，残じんが炭化していない範囲に拡大しない 2) ISO 15025:2016 B法（下端着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 < 2 秒，炭化長 ≤ 100 mm 残じん ≤ 2 秒 残じんが炭化していない範囲に拡大しない	・ ISO 15025:2016 JIS T 8022:2020 (MOD)
	耐炎性 【バッジ，ラベル， 高視認性素材】 ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 貫通した穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒	ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 5 mm以上の穴あきなし 燃焼飛散物・溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒，残じんが炭化していない範囲に拡大しない	ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） 洗濯前後 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 貫通した穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒	・ ISO 15025:2016 JIS T 8022:2020 (MOD)
	耐炎性 【ハードウェア】 ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） フラップで覆われている場合：洗濯後 フラップで覆われていない場合：洗濯前 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 貫通した穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒		ISO 15025:2016 A 法（表面着火法） フラップで覆われている場合：洗濯後 フラップで覆われていない場合：洗濯前 試験片上端・両側端への火炎伝ばなし 貫通した穴あきなし 燃焼飛散物，溶融滴下物なし 残炎 ≤ 2 秒 残じん ≤ 2 秒	・ ISO 15025:2016 JIS T 8022:2020 (MOD)

防火服の性能比較表（案）

要求事項	新ガイドライン	前回ガイドライン（R4.3）	ISO 11999-3:2025	JIS規格
耐炎・耐熱性能	熱伝達性（火炎ばく露）【防火服積層】 ※活動服との複合層を構成する場合は、活動服を含む積層 1) ISO 9151:2016 洗濯前 HTI ₂₄ ≥ 13 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 4 秒 2) ISO 9151:2016 洗濯後 HTI ₂₄ ≥ 15 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 実施している場合は不要)	1) ISO 9151:2016 洗濯後 HTI ₂₄ ≥ 13 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 実施している場合は不要) 2) 防火服と活動服の組み合わせの場合上記1)に加え、防火服単体の積層（活動服を含めない） ISO 9151:2016 洗濯後 HTI ₂₄ ≥ 9 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 3 秒	1) ISO 9151:2016 洗濯前 HTI ₂₄ ≥ 13 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 4 秒 2) ISO 9151:2016 洗濯後 HTI ₂₄ ≥ 15 秒 HTI ₂₄ -HTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 実施している場合は不要)	• ISO 9151:2016 JIS T 8021:2020 (MOD)
	熱伝達性（放射熱ばく露）【防火服積層】 ※活動服との複合層を構成する場合は、活動服を含む積層 1) ISO 6942:2022 B法 洗濯前 熱流束：40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 18 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 4 秒 2) ISO 6942:2022 洗濯後 熱流束：40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 20 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 を実施している場合は不要)	1) ISO 6942:2002 B法 洗濯後 熱流束 40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 18 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 を実施している場合は不要) 2) 防火服と活動服の組み合わせの場合上記1)に加え、防火服単体の積層（活動服を含めない） ISO 6942:2002 B法 洗濯後 熱流束：40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 10 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 3 秒	1) ISO 6942:2022 B法 洗濯前 熱流束：40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 18 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 4 秒 2) ISO 6942:2022 洗濯後 熱流束：40 kW/m ² RHTI ₂₄ ≥ 20 秒 RHTI ₂₄ -RHTI ₁₂ ≥ 4 秒 (ISO 17492 を実施している場合は不要)	• ISO 6942:2022 対応JISなし • ISO 6942:2002 JIS T 8020:2005 (MOD)
	熱伝達性 火炎・放射熱同時ばく露【防火服積層】 ISO 17492:2019 洗濯後 TPI ≥ 1,400 kJ/m ² (ISO 9151及びISO 6942共に実施時は不要)	ISO 17492:2003 洗濯前後 TTI ≥ 1,050 kJ/m ² (ISO 9151及びISO 6942共に実施時は不要)	ISO 17492:2019 洗濯後 TPI ≥ 1,400 (ISO 9151及びISO 6942共に実施時は不要)	• ISO 17492:2019 JIS T 8024:2020 (MOD)
	耐熱性【防火服表地】【縫糸】 ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：260℃×5分 表地：熔融，滴下，分離，発火不可，熱収縮率 ≤ 5% 縫糸：熔融不可	ISO 17493:2016 洗濯前後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火不可，熱収縮率 ≤ 5%	ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：260℃×5分 熔融，滴下，分離，発火不可，熱収縮率 ≤ 5%	• ISO 17493:2016 JIS T 8023:2020 (MOD)
	耐熱性【縫糸】 ISO 3146:2022 洗濯前 熔融不可			
	耐熱性【透湿防水層】【透湿防水層接合部】【防火服裏襟】【防火服裏地】 ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 透湿防水層：熔融，滴下，分離，発火不可 熱収縮率 ≤ 5% 透湿防水接合部：滴下，発火不可 防火服裏襟：熔融，滴下，分離，発火不可 防火服裏地：熔融，滴下，分離，発火不可 熱収縮率 ≤ 5%	ISO 17493:2016 洗濯前後 試験温度×時間：180℃×5分 透湿防水層：熔融，滴下，分離，発火不可 透湿防水接合部：滴下，発火不可 防火服裏襟：熔融，滴下，分離，発火不可 防火服裏地：熔融，滴下，分離，発火不可 熱収縮率 ≤ 5%	ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 透湿防水層：熔融，滴下，分離，発火不可 熱収縮率 ≤ 5% 透湿防水接合部：滴下，発火不可 防火服裏襟：熔融，滴下，分離，発火不可 防火服裏地：熔融，滴下，分離，発火不可 熱収縮率 ≤ 5%	• ISO 17493:2016 JIS T 8023:2020 (MOD)
	耐熱性【フアスナー・ボタン】 ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 発火不可，機能保持	ISO 17493:2016 洗濯前後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火不可，機能保持	ISO 17493:2000 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火不可，機能保持	• ISO 17493:2016 JIS T 8023:2020 (MOD)
	耐熱性【リストレット】 ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火，炭化不可，機能保持	ISO 17493:2016 洗濯前後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火，炭化不可，機能保持	ISO 17493:2000 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火不可，機能保持	• ISO 17493:2016 JIS T 8023:2020 (MOD)
	耐熱性【高視認性材料】 ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火，炭化不可 加熱後，再帰反射係数 (R') > 要求値 再帰反射係数（再帰性反射材）： 観測角0.2° 入射角5° < 100 cd/(lx/m ²) 再帰反射係数（複合機能材料）： 観測角0.2° 入射角5° < 30 cd/(lx/m ²)	ISO 17493:2016 洗濯前後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火，炭化不可 加熱後，再帰反射係数 (R') > 要求値 再帰反射係数（再帰性反射材）： 観測角0.2° 入射角5° < 100 cd/(lx/m ²) 再帰反射係数（複合機能材料）： 観測角0.2° 入射角5° < 30 cd/(lx/m ²)	ISO 17493:2016 洗濯後 試験温度×時間：180℃×5分 熔融，滴下，分離，発火，炭化不可 加熱後，再帰反射係数 (R') > 要求値 再帰反射係数（再帰性反射材）： 観測角0.2° 入射角5° < 100 cd/(lx/m ²) 再帰反射係数（複合機能材料）： 観測角0.2° 入射角5° < 30 cd/(lx/m ²)	• ISO 17493:2016 JIS T 8023:2020 (MOD)

防火服の性能比較表（案）

要求事項		新ガイドライン	前回ガイドライン（R4.3）	ISO 11999-3:2025	JIS規格
耐炎・耐熱性能	放射熱ばく露後の引張抵抗【防火服表地】	ISO 13934-1:2013 洗濯前 熱ばく露前処理：ISO 6942:2022 A 法 熱流束：20 kW/m ² 引張強さ（織地）≥ 1,200 N	ISO 13934-1:2013 洗濯前 熱ばく露前処理：ISO 6942:2002 A 法 熱流束：10 kW/m ² 引張強さ（織地）≥ 1,200 N 引張強さ（編地）≥ 450 N	ISO 13934-1:2013 洗濯前 熱ばく露前処理：ISO 6942:2022 A 法 熱流束：20 kW/m ² 引張強さ（織地）≥ 600 N	・ ISO 13934-1:2013 JIS L 1096:2010 (MOD) ・ ISO 6942:2022 対応JISなし
	圧縮時熱伝達性【防火服積層】	ISO 12127-1:2015 洗濯前後 接触部温度：260 °C 閾値指数(t _i)：≥ 10 秒		ISO 12127-1:2015 洗濯前後 接触部温度：260 °C 閾値指数(t _i)：≥ 10 秒	・ ISO 12127-1:2015 JIS T 8024:2018 (MOD)
	圧縮時熱伝達性【膝補強部の積層】 【肩補強部の積層】	ISO 12127-1:2015 洗濯後 接触面圧：（膝補強部）55 kPa, （肩補強部）14 kPa 接触部温度：260 °C 24 °C上昇時の圧縮時熱伝達指数 ≥ 13.5	ISO 11999-3:2015の4.17.9 洗濯後 接触面圧：（膝補強部）55 kPa, （肩補強部）14 kPa 接触部温度：180 °C 24 °C上昇時の圧縮時熱伝達指数 ≥ 13.5	ISO 12127-1:2015 洗濯後 接触面圧：（膝補強部）55 kPa, （肩補強部）14 kPa 接触部温度：260 °C 24 °C上昇時の圧縮時熱伝達指数 ≥ 13.5	・ ISO 12127-1:2015 JIS T 8024:2018 (MOD)
機械的強度性能	引張抵抗【防火服表地】	ISO 13934-1:2013 洗濯後 引張強さ（織地）≥ 1,200 N 引張強さ（編地）≥ 450 N	ISO 13934-1:2013 洗濯前 引張強さ（織地）≥ 1,200 N 引張強さ（編地）≥ 450 N	ISO 13934-1:2013 洗濯後 引張強さ（織地）≥ 600 N	・ ISO 13934-1:2013 JIS L 1096:2010 (MOD)
	引裂抵抗【防火服表地】	ISO 13937-2:2000 洗濯後 引裂強さ（織地）≥ 100 N 引裂強さ（編地）≥ 50 N	ISO 13937-2:2000 洗濯前 引裂強さ（織地）≥ 100 N 引裂強さ（編地）≥ 50 N	ISO 13937-2:2000 洗濯後 引裂強さ ≥ 40 N	・ ISO 13937-2:2000 対応JISなし
	縫目強度【防火服表地縫目】	ISO 13935-2:2026 洗濯後 縫目強さ ≥ 300 N	ISO 13935-2:2014 洗濯前 縫目強さ（織地）≥ 225 N 縫目強さ（編地）≥ 180 N	ISO 13935-2:2026 洗濯後 縫目強さ ≥ 300 N	・ ISO 13935-2:2026 対応JISなし
耐薬品性能	液体化学薬品浸透性【防火服積層】	ISO 6530:2005 洗濯後 37% H ₂ SO ₄ 又は O-キシレン（無希釈） 反発指数> 80 %, 最内層表面への浸透なし	ISO 6530:2005 洗濯前 40% NaOH, 36% HCl, 37% H ₂ SO ₄ , O-キシレン（無希釈） 反発指数> 80 %, 最内層体表面側への浸透なし	ISO 6530:2005 洗濯後 37% H ₂ SO ₄ 又は O-キシレン（無希釈） 反発指数> 80 %, 最内層表面への浸透なし	・ ISO 6530:2005 JIS T 8033:2008 (MOD)
	耐吸水性【防火服表地】 【襟裏地】	ISO 11613:2017の7.1.9 洗濯前後 吸水率 ≤ 15 %	ISO 11613:2017の7.1.9 洗濯前後 吸水率 ≤ 15 %		
	耐水性【透湿防水層】 【透湿防水層接合部】	未定：評価を実施する。	JIS L 1092:2009 B 法（高水圧法） 洗濯前 目皿使用可 耐水度 ≥ 294 kPa	ISO 811:1981 洗濯後 加圧速度：5 kPa/min ± 0.01 kPa/min 耐水度 ≥ 175 kPa	・ ISO 811:1981 JIS L 1092:2009 (MOD)
快適性能	全熱及び潜熱損失【防火服積層】		ASTM F 1868-17 Part C 洗濯前※要求値の±10 %以内の数値は許容範囲 全熱損失 ≥ 300 W/m ² 潜熱損失 ≥ 200 W/m ²		
	水蒸気透過抵抗【防火服積層】	ISO 11092:2026 洗濯前 水蒸気抵抗 (Ret) ≤ XXm ² Pa/W ※要求値の±XX %以内の数値は許容範囲とする。 ラウンドロビン試験を実施する。		ISO 11092:2026 洗濯前 水蒸気抵抗 (Ret) ≤ 20 m ² Pa/W	・ ISO 11092:2026 対応JISなし
運動性能	生地質量【防火服積層】	JIS L 1096:2010 洗濯前 上衣 ≤ 650 g/m ² ズボン ≤ 650/m ²	JIS L 1096:2010 洗濯前 上衣 ≤ 650 g/m ² ズボン ≤ 550 g/m ²		
帯電防止性	帯電性【防火服各層】	JIS L 1094:2014 C法 洗濯後（前処理の3）） 帯電電荷量 ≤ 7 μC/m ²	JIS L 1094:2014 C法 洗濯後（前処理の3）） 帯電電荷量 ≤ 7 μC/m ²		
	洗濯収縮性【防火服各層】 【リストレット】	ISO 5077:2007 洗濯後 一般織物：寸法変化 ≤ ±3 % 透湿防水層，伸縮性織物，特殊構造織物，編物；寸法変化 ≤ ±5 %	ISO 5077:2007 洗濯方法：洗濯前処理で実施する方法 寸法変化率 ≤ ±5 %	ISO 5077:2007 洗濯後 織物：寸法変化 ≤ ±3 % 織物以外：寸法変化 ≤ ±5 %	・ ISO 5077:2007 対応JISなし
	ハードウェア腐食抵抗 金属製，金属製部品含むハードウェア	ISO 9227:2022+Amd1:2024 洗濯前 5 %の塩水に20 時間浸漬 1) 耐食性金属：表面に軽微以上の腐食又は酸化なし 2) 鉄を含む金属：腐食なし	ISO 9227:2017 洗濯前 5 %の塩水に20 時間浸漬 1) 耐食性金属：表面に軽微以上の腐食又は酸化なし 2) 鉄を含む金属：腐食なし	ISO 9227:2022+Amd1:2024 洗濯前 5 %の塩水に20 時間浸漬 1) 耐食性金属：表面に軽微以上の腐食又は酸化なし 2) 鉄を含む金属：腐食なし	・ ISO 9227:2022 対応JISなし

防火服の性能比較表（案）

要求事項	新ガイドライン	前回ガイドライン（R4.3）	ISO 11999-3:2025	JIS規格
高視認性材料の可視性 【再帰性反射材】 【複合機能材料】	<p>【任意試験】 ISO 20471:2013+Amd1:2016 7) 再帰性反射材，複合機能材料の再帰反射係数 1) 未処理 ・再帰性反射材：ISO 11999-3:2025の表12の基準値以上 ・複合機能材料：ISO 11999-3:2025の表13の基準値以上 2) ばく露処理後 摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨 ・再帰性反射材－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨：観測角12'入射角5°で100 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング；複合機能材料：観測角12'入射角5°で30 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－降雨：観測角12'入射角5°で15 cd/(lx/m²) 4) 蛍光材料の輝度係数 1) 未処理 ・ISO 11999-3:2025の表14の基準値を満たす 2) キセノン耐光ばく露後 ・ISO 11999-3:2025の表14の基準値を満たす</p>	<p>ISO 20471:2013 再帰性反射材，複合機能材料の再帰反射係数 1) 未処理 ・再帰性反射材：本文中の表4-1の基準値以上 ・複合機能材料：本文中の表4-1の基準値以上 2) ばく露処理後 摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨 ・再帰性反射材－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨：観測角12'入射角5°で100 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング；複合機能材料：観測角12'入射角5°で30 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－降雨：観測角12'入射角5°で15 cd/(lx/m²)</p>	<p>【任意試験】 ISO 20471:2013+Amd1:2016 7) 再帰性反射材，複合機能材料の再帰反射係数 1) 未処理 ・再帰性反射材：ISO 11999-3の表12の基準値以上 ・複合機能材料：ISO 11999-3の表13の基準値以上 2) ばく露処理後 摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨 ・再帰性反射材－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング，降雨：観測角12'入射角5°で100 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－摩耗，屈曲，低温曲げ，温度変化，洗濯，ドライクリーニング；複合機能材料：観測角12'入射角5°で30 cd/(lx/m²) ・複合機能材料－降雨：観測角12'入射角5°で15 cd/(lx/m²) 4) 蛍光材料の輝度係数 1) 未処理 ・ISO 11999-3:2025の表14の基準値を満たす 2) キセノン耐光ばく露後 ・ISO 11999-3:2025の表14の基準値を満たす</p>	<p>・ISO 20471:2013 JIS T 8127:2020 (MOD)</p>
染色堅ろう度 【防火服表地】	<p>【任意試験】 1) JIS L 0844:2011 A-2号 洗濯堅ろう度（変退色／汚染）≧ 3 級 2) JIS L 0848:2004（酸性／アルカリ性） 汗堅ろう度（変退色／汚染）≧ 3 級 3) JIS L 0842:2021 第3露光法 耐光堅ろう度（変退色）≧ 2 級 4) JIS L 0849:2024 II型（乾燥／湿潤） 摩擦堅ろう度（変退色／汚染）≧ 3 級</p>	<p>【任意試験】 1) JIS L 0844:2011 A-2号 洗濯堅ろう度（変退色／汚染）≧ 4 級 2) JIS L 0848:2004（酸性／アルカリ性） 汗堅ろう度（変退色／汚染）≧ 4 級 3) JIS L 0842:2004 第3露光法 耐光堅ろう度（変退色）≧ 3 級 4) JIS L 0849:2013 II型（乾燥／湿潤） 摩擦堅ろう度（変退色／汚染）≧ 4 級</p>		
耐摩耗性 【防火服表地】 【裏地】	<p>【任意試験】 ISO 12947-2:2016 洗濯前 押圧荷重：12 kPa 表地：≧ 20,000 回 裏地：≧ 10,000 回</p>		<p>【任意試験】 ISO 12947-2:2016 洗濯前 押圧荷重：12kPa 表地：≧ 20,000 回 裏地：≧ 10,000 回</p>	<p>・ISO 12947-2:2016 対応JISなし ・ISO 12947-2:1998 JIS L 1096:2010 (MOD)</p>
耐熔融金属 【防火服積層】	<p>【任意試験】 ISO 9185:2025 洗濯後 熔融アルミニウム ≧100 g</p>		<p>【任意試験】 ISO 9185:2025 洗濯後 熔融アルミニウム ≧100 g</p>	<p>・ISO 9185:2025 対応JISなし ・ISO 9185:2007 JIS T 8026:2018 (MOD)</p>
ウイルスバリア性 【透湿防水層】 【透湿防水層接合部】	<p>【任意試験】 ISO 16604:2004 洗濯後+ISO 17493で140℃×5分を2回完全繰返し 0 kPaで5分間，14 kPa加圧して1分間，その後0 kPaで54分間ばく露 Phi-X 174の貫通時間≧60分</p>		<p>【任意試験】 ISO 16604:2004 洗濯後+ISO 17493で140℃×5分を2回完全繰返し 0 kPaで5分間，14 kPa加圧して1分間，その後0 kPaで54分間ばく露 Phi-X 174の貫通時間≧60分</p>	<p>・ISO 16604:2004 JIS T 8061:2015 (MOD)</p>
燃焼マネキン試験	<p>【任意試験】 ISO 13506-1:2024+ISO 13506-2:2024 洗濯後（1回洗濯） 熱流束×時間：84 kW/m² × 8 秒間 製造業者による3着の平均値結果を報告</p>		<p>【任意試験】 ISO 13506-1:2024+ISO 13506-2:2024 洗濯後（1回洗濯） 熱流束×時間：84 kW/m² × 8秒間 製造業者による3着の平均値結果を報告</p>	